

# 明日に架ける橋

2024年度 進路だより 第11号  
兵庫県立明石高等学校進路指導部  
2025年3月21日発行

## 「先輩にきく」を実施しました

3月17日(月)2・3校時、今春明石高校を卒業した77回生から36名に来てもらって、2年生を対象に「先輩にきく」と銘打った進路学習を実施しました。

①美術系、②理系大学・理工学部、③理系大学・理工学部以外、④医療看護系、⑤国公立大学文系、⑥私立大学文系(教育系)、⑦私立大学文系(教育系以外)、⑧専門学校・短大、⑨公務員・就職、の9つから各自の進路希望に合った分野に分かれて、希望進路の実現を達成した卒業生から合格体験談やアドバイスを聞き、来年度の進路実現に生かす貴重な時間になりました。



私立大学文系



医療看護系



私立大学文系(教育系)

どの卒業生も共通して伝えてくれたアドバイスは「高校の授業や定期考査を大切に」「学校や図書館の自習室活用」ということでした。伝えてもらった様々なアドバイスは聞くだけでなく、さっそく実行して、自分の進路目標達成に役立てましょう。終了後、2年生にはワークシートを書いてもらいましたが、その一部を抜粋して紹介します。

感じたことは「努力なしに合格なし」ということです。今は高い理想とモチベーションがあるので、良いスタートダッシュができるよう、今日から頑張ります。(国公立文系)

話を聞いた5人の先輩全員が厳しい運動部で頑張りがちで、受験勉強と両立させていてすごく尊敬しました。英単語を早くからやるべき、と全員が言われていたので、コツコツ頑張りたいです。また学校の自習室がよく勉強できると言われていたので、3年生になったら自習室を利用して頑張りたいです。(私立文系)

先輩の皆さんが口を揃えて言われたのは、英単語と古文単語をできるだけ早く覚えてしまう、授業に真剣に取り組む、ということでした。(私立文系)

毎日遅くまで学校の自習室にいた、休日は10時間以上勉強した、などリアルな話を聞いて、自分も頑張ろうと強く思いました。どの先輩も、早くからコツコツ勉強するべきと言われていたので、ちゃんと受けとめて今日から頑張ります。(医療看護系)

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜と多くの受験方法があることを改めて理解しました。またずっと言われてきたことですが、学校の成績・調査書がとても大事であることを痛感させられました。今まで以上に授業に真剣に臨みます(理系大学・理工学部)

想像していたよりも、詳しく丁寧にアドバイスをくださって、改めて気合を入れ直そうと思いました。赤本の活用方法や問題集の選び方も知ることができ、アドバイス通りに早速頑張っていこうと思いました。(理系大学・理工学部以外)

去年の「先輩にきく」を聞いてから、休日は10時間以上勉強したと言われた方がいたので自分も必死で頑張って志望校に行こうと思いました。(理系大学・理工学部以外)

また1年生はこの日、美術科は2年生と一緒に「先輩にきく」に参加し、普通科・STEAM探究科は、今春大学を卒業して社会人となる73回生5人に来てもらい、「卒業生に聞く」のタイトルでの座談会形式の学年行事を実施しました。将来の進路選択を考えるうえで、大変貴重な時間となりました。

## 合格体験記圧縮版(2)です

国公立大学の共通テスト利用推薦入試、私立大学の一般選抜入試前期日程の合否が2月末あたりに出そろい、第1志望校に合格した77回生から合格体験記が届き始めました。第8号で、国立大学総合型選抜と就職に合格した人の「合格体験記」圧縮版を掲載しましたが、今回は圧縮版(2)として、国公立大学学校推薦型選抜と私立大学一般選抜で合格した人の文を2名分紹介します。完全版は「進路の手びき2025年版」に掲載します。

### 兵庫県立大学工学部電気電子情報工学科(学校推薦型Ⅱ)

自分の夢を実現できる学校として、兵庫県立大学の電気電子情報工学科は最適でした。授業料が無償化されることにもなり、私は兵庫県立大学の志願を決めました。元々予習・復習・定期考査・小テストなど学校の勉強をしっかりとしていたので、いざ共通テストの受験勉強となっても、抵抗感もなく取り組む事ができました。高校の授業・勉強を大切にしてきたことが、志望大学合格に繋がったのだと確信しています。

学校で良い成績を取っておくと、選択肢が広がるため、テストをサボらないことをお勧めします。私が個人的にお勧めしたい勉強法は「人に教えること」です。友達同士で教え合うなど、人に教えるということは物事を本当に理解していないとできないことであり、非常に有効だと思います。

受験勉強は日々の積み重ねが大切だったと改めて感じています。皆さんが自身の目標に向けて後悔のない受験ができることを願っています。

### 立命館大学文学部人文学科東アジア研究学域(一般選抜)

私が受験勉強をはじめたのは高校2年の2月頃です。「関関同立合格」という目標を立て私の受験生活がスタートしました。

関関同立を目指す受験生にとって、2月と3月、特に入試休みや春休みの勉強は夏休みと同じくらい大切だと思います。私はこの期間、誰よりも勉強しました。毎日朝9時から夜10時まで、基礎を固めていきました。そのおかげで合格を勝ち取れたといっても過言ではないと思います。

過去問は、夏休みに10年分解きました。それで傾向と自分の弱点を把握しました。その傾向と弱点をもとに9月から綿密な計画を立てて勉強し、12月ころからは他の日程の問題も解きまくりました。

受験勉強を頑張る皆さんに伝えたいことが3つあります。

1つ目、英検2級を取得してください。多くの大学で英検利用でき、受験を有利に進められます。

2つ目、オープンキャンパスにたくさん行って、大学の雰囲気を感じてください。私は夏のオープンキャンパスで立命館大学に一目惚れし、第1志望校に決めました。

3つ目、第1志望校に絶対に合格するんだという強い意志を持ってください。共通テストですが、私は直前の模試で4割しか取れていませんでしたが、気持ちで当日8割とることができました。私大の入試でもそうでした。受験は諦めない人が勝つものです。

私のように勉強が嫌いで逃げている人は、ぜひ単語帳を手に取り、一度本気で勉強と向き合ってみてください。分かると問題が解けるようになり、勉強が楽しくなってきます。私は世界史が嫌いだったのに、勉強して世界史を知ると、楽しくなって好きになって、世界史をより学べる学校に進学することになりました。今の好き嫌いなんかは無視して、とりあえずやってみてください。きっといい方向に道は伸びていくはずですよ。

受験勉強をやりきることで得られるものは計り知れません。自分で自分の限界を決めてしまわず、最後まで全力で頑張ってください。応援しています。

学年末考査が終了し、多くの2年生が進路指導室を訪れて来ています。進路相談、資料閲覧の他、赤本(大学別入試問題集)を借りて帰る人もいました。17日に返却に来た生徒の一言。「過去問を解いてみて、今の学力では志望校は無理と判りました。春休みに頑張ります」頼もしい言葉です！ 春季休業中も進路指導室は開放しています。皆さんの活用を待っています。